



成瀬ダム堤体打設工事

工事だより [第31号]

[発行元] 2024年4月発行
鹿島・前田・竹中土木JV成瀬ダム堤体打設工事事務所
〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1
TEL: 0182-23-5185
FAX: 0182-23-5186 (担当: 鈴木)



WEBサイトはこちら
www.narusedam.jp

工事に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

いよいよ2024年度の工事がスタートいたします！



工事概要

工事名	成瀬ダム堤体打設工事
発注者	国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所
工事場所	秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内
水系	1級河川 雄物川水系成瀬川
地質	緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩
工期	2018年5月9日～2026年12月11日 (3,138日、約103ヶ月)
ダムの目的	洪水調整 (F) ・流量機能維持 (N) ・農業用水の補給 (A) 水道用水の供給 (W) ・発電 (P)

進捗度

		2024年3月25日現在
堤体積	CSG	3,700,800m ³ / 4,312,000m ³ (85.8%)
	CON	433,400m ³ / 596,900m ³ (72.6%)
堤高		83.0m / 114.5m (72.5%)
監査廊	延長	1,024m / 1,106m (93%)

3月末現在の人数 計 482人
(JV職員 71人・協力会社 411人)

工事現況写真



成瀬ダムの施工技術を
動画でチェック！



3月上旬の堤体上
まだまだ積雪があります。
雪下の堤体は厚み30cmの土で覆われ、
CSG越冬面の保温がされています。



同じ地点の3月中旬の様子
除雪を行い、堤体に被せていた土(覆土)が
姿を現しました。この覆土を取り除いてから、
CSGの打設が再開されます。

現況報告

3月末になっても雪が降り続けておりますが、2月上旬の「横手のかまくら」は積雪のない中での開催となりました。そのため、原石山JVさん、鈴木建設さん、当JVで現場内の雪を横手へ運搬し、かまくら作成に協力いたしました。

3月3日、地域交流センターゆるるんにて「岩井川コミュニティフェスティバル」が開催され、午前のスポーツの部に小倉副所長が、午後の文化の部では仙人太鼓の奏者として小林職員が参加いたしました。文化展示・唐揚げの販売もあり、会場は大盛況でした。



【雪の積み込みのようす】
ダンプトラック5台で往復しながら
約100トンもの雪を会場へ運びました！



【仙人太鼓の演奏】
なるせ仙人太鼓のメンバー17名で
オリジナル曲「仙路(みち)」を演奏しました。

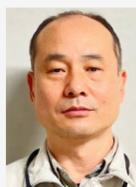


【ニュースポーツ大会のようす】
村民の方々とチームを組んで
3種目の大会に出場しました。

ご挨拶

はじめまして、増村浩一と申します。2022年6月に赴任し、工事現場内の機械・電気設備全般の業務を担当しています。これまでダム工事を5現場(延べ22年)担当し6現場目のダム工事となりますが、成瀬ダムは台形CSGダムという形式ではじめての経験です。これまでの経験を活かしつつ、CSGならではの新たな経験もさせてもらっています。工事も最盛期を超えつつあり、今年いっぱいでのCSG打設完了を目指し日々奮闘しています。

これまでは関東や中国・九州など西日本のダム現場におり、豪雪地域での仕事は初めてとなります。2回の冬を経験し今年は雪が少ないとはいえ3月になっても雪が降る状況で冬の厳しさを感じています。厳しい冬と美しい村、夜空を楽しみながら仕事や生活をしています。工事期間中は地域の皆様にはご迷惑となることが多いかと思いますが、完成したダムが地域のお役に立つよう施工を進めて参りますので、引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



副所長(機電Gr.)
増村 浩一 (鹿島建設)
出身地: 兵庫県
趣味: 旅行
座右の銘: 人事を尽くして天命を待つ
好きな食べ物: あん肝



グループ長(工事2Gr.)
藤野 賢一 (鹿島建設)
出身地: 愛媛県
趣味: 温泉、サウナ
座右の銘: 挑戦
好きな食べ物: その土地の美味しいもの